

令和5年 第2回 大刀洗町議会定例会あいさつ

令和5年12月7日

議会定例会の開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、ここに令和5年第2回大刀洗町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には師走に入り、公私ともにご多用中にもかかわらず、ご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、早いもので本年も残すところ1月足らずとなり、私自身の任期も2ヶ月弱を残すところとなりました。

今議会が在任中の最後の定例会となりますので、これまでの町政運営と今後の所信について少しだけ述べさせていただきたいと思います。

令和2年1月の町長就任以来、この間、安丸町政の継承と発展を掲げ、対話を大切にした町政を目指して、マニフェストで約束した財政の健全化と、子育て支援と教育環境の充実、町民の皆様の健康づくり、地域づくりの三本柱をはじめ、重要施策を着実に推進していくとともに、新たに、防災力の強化や交通弱者対策等にも重点的に取り組んできたところです。

この結果、日本全体が人口減少と少子高齢化が進展する中、大刀洗町では直近の11月末の人口は16,069人と町長就任時の令和2年1月末に比して402人の増、15歳未満の子どもの数も2,418人と112人増加し、小中学生の学力も向上するなど、一定の成果があったものと考えています。

この間を振り返りますと、コロナ禍への対応と災害対策、そして、ロシアのウクライナ侵攻と急激な円安に伴う物価高騰対策等に追われる中、町長として職責を全うすることができましたのは、職員の努力に加え、議員の皆様をはじめ町民の皆様や関係機関の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から厚くお礼申し上げます。

残された在任期間も最後まで全力で取組んで行くとともに、大刀洗町をもっともっと元気な町とするため、再度、町政に挑戦する所存でございます。

町議会におかれましては、大刀洗町の発展に向け、今後とも、互いに知恵を出し合い、切磋琢磨しながら、町政運営にご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

次に、令和4年度一般会計決算については、歳入が98億1,959万円余、歳出が91億3,583万円余となり、実質収支額は6億4,085万円余の黒字、実質単年度収支は848万円余の黒字となっています。

歳入では、町税が町民税や固定資産税の増加に伴い4.1%、ふるさと応援寄付金が16.6%の増となった一方、国庫支出金が12.3%減少しましたが、歳入全体では6.2%の増となっています。

歳出では、普通建設事業費が防災行政無線整備事業、ため池の緊急浚渫事業、新設保育園への補助など109.7%と大幅に増加しています。扶助費については、障がい者自立支援費が増加した一方、子育て世帯臨時特別給付金が令和3年度で終了したことに伴い9.8%の減、歳出全体では7.4%の増となっています。

特別会計についても、4会計とも実質収支は黒字となっていますが、詳細につきましては、決算特別委員会において報告をさせていただきます。

また、今年度の住民協議会では、近年の地球温暖化に伴う災害の激甚化を踏まえ、流域治水を取り上げ、「私たちが考える治水デザイン」をテーマにご審議いただいています。これまで無作為抽出で選ばれ委員に就任いただいた方は316名と人口の1.9%を超えています。こうして町のこと、地域のことを「自分ごと」として考え、行動くださる住民の皆様が増えていけば、大刀洗の未来はより良いものになっていくと確信しています。

さて、今議会には、

○固定資産評価審査委員会委員の選任 1件

○専決処分の承認 1件

○大刀洗町道路占用料徴収条例をはじめ、条例の制定 10件

○久留米市の甘木・朝倉・三井環境施設組合からの脱退に伴う財産処分に関する協議 1件 の他

ふるさと応援寄付金の増加や、物価高騰に伴う価格高騰重点支援金の支給などに必要な経費を計上した一般会計補正予算など

○一般会計及び特別会計の補正予算 4件

○令和4年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定 5件

を提案いたしています。

いずれも重要な案件を提案いたしていますので、慎重に御審議いただきまして、最後にはご承認いただきますようお願い申し上げます、開会にあたっての挨拶といたします。

どうぞよろしく、お願い申し上げます。